

各会議等の実施状況報告について		提出日	令和6年7月31日（水）
		担当課	スポーツ・生涯学習課
会議名称	湖西市青少年問題協議会		
開催日時	令和6年6月28日（金） 14：00～14：58		
開催場所	市民活動センター2階 大会議室		
出席者	会長1名、委員13名（うち代理1名）、事務局5名 【計19名】 ※傍聴者なし		
1 開 会 委嘱状伝達			
2 あいさつ 会長（市長）			
3 会議録署名人選出 会長より 湖西高等学校長、白須賀中学校長の2名を指名し、委員により承認			
4 副会長選出 委員互選により、自治会連合会長を選出			
5 議事 （1）令和5年度湖西市青少年問題協議会 活動報告 事務局説明 【質問・意見なし】 （2）令和6年度湖西市青少年問題協議会 活動計画 事務局説明 【質問・意見なし】 （3）各団体の活動状況等 【湖西警察署】 ・年明けに浜名湖で少年が被害者になり少年が加害者になる痛ましい事件が起きてしまったが、そのような事件が発生しないように努めていきたい。 ・湖西市は、刑法犯の認知件数が、静岡県・全国共に増加傾向であるにもかかわらず、減少または少数で推移している。湖西署管内で少年補導が62件。1番多いのは深夜徘徊で、酒やたばこの所持、喫煙、飲酒がとても多い傾向。 ・湖西警察署の四半期の活動の重点として、青少年と女性が犯罪被害に遭わないためにどうすべきか活動中。 ・SNSの投資詐欺、そこから波及したSNS型のロマンス詐欺等も増えている。青少年が関わっているケースがとても多い。湖西市内でも2件、被害額が2800万円にのぼる被害が発生。 ・薬物の乱用や少年非行防止、家庭での防犯対策の話等、講座等の要望があれば、伺わせていただきたい。 【市内小学校】 ・どの学校も落ち着いた状況。コロナ前の状態に近い形で教育活動を進めている。 ・環境の変化に敏感な子どもが増えており、年度初めに不安定な児童が一定数おり、対応に苦慮している学校がある。 ・コロナ禍に加え、小学校の部活動がなくなったことが重なり、児童の体力低下が心配される。 ・登下校や地域での過ごし方に課題があり、交通マナーや事故防止について指導していきたい。 ・ICT教育が進む一方、ネットでのトラブルに巻き込まれないようしっかり指導していきたい。 【市内中学校】 ・どの学校も大変落ち着いた様子が見られ、暴力や喫煙等の問題行動の報告はない。 ・依然としてマスクをしている子どもが多く、今後熱中症の心配もあり、適切に判断できるようにさせていきたい。 ・課題としては、不登校の生徒が増加傾向にあること。原因は、複雑化しているが、コミュニケーションが苦手な生徒や起立性調節障害等で、朝起きることができない生徒が増えている。家庭とも連携をとりながら解決に向けて働きかけていきたい。また、対応としては、別室登校やタブレットを活用した個別対応、スクールカウンセラーとの面談、医療機関との連携等も実施。 (次頁につづく)			

（次頁につづく）

【市内高等学校】

- ・湖西高校と新居高校の全体で1,000人弱の生徒。落ち着いた学校生活を送っている。
- ・課題としては、貧困家庭が増えていること。学費の支払が滞ったり遅れてしまったりする家庭がある。また、ヤングケアラーの問題もある。
- ・問題行動としては、BeReal というコミュニケーションツールを授業中に携帯電話で操作してしまうケースがある。また、映り込んだ写真から位置情報が漏れてしまい、自宅が特定されてしまうといった問題もある。
- ・湖西高校も新居高校も地域連携を進めている。

【その他団体代表】

- ・市内の小中学生に対して不審者からの声かけ事案が発生していることから、自治会連合会として、市内の主要箇所への防犯カメラの設置を市へ要望している。
- ・保護士会として、小中学校でのあいさつ運動への協力や保護士、協力雇用主、更正保護女性会全体での研修、駅頭警備、学校との連携強化を進めていきたい。
- ・民生委員は、市内に100数名いるが、自分の居住地区を見守るという活動を実施。登下校時の子ども達の見守りや声かけを行っている。
- ・民生委員の中に主任児童委員がおり、各学校に訪問し、学校での様子を聴いたり、聴いたことをもとに地域の民生委員に伝えることもしている。
- ・少年警察協助員は、各地域での子ども達の見守りや声かけを行っており、湖西警察署の生活安全課と協力し、街頭補導や祭典の巡回を行っている。
- ・青少年育成センターが行っている青少年補導では、昨年度に比べ人の出歩きは増えたが、補導の対象となるような不良行為は見られず、ほとんどの声掛けがあいさつであった。
- ・青色防犯灯装着車で定期的に地区内を巡回し、活動を継続することで、非行や犯罪を起こしにくい環境になることを目的に実施している。
- ・相談活動については、青少年育成センターの職員が対応をしており、相談の内容によっては必要に応じて専門機関の紹介や各学校との情報共有を行っている。
- ・青少年育成センターの活動としては、青少年の非行や犯罪につながりかねない社会環境をなくすことを目的に、社会環境実態調査を行っている。
- ・新所原駅の駐輪場を見ると、自転車の施錠の状態に改善が見られる。

〔質疑は特になし〕

【教育長より】

- ・だんだんあいさつもするようになっていたり、自転車の施錠もするようになっていたりという報告もあり、いい表れが見られるようになってきている。地域の子ども達や犬の散歩の方を見ても、あいさつをするようになったと実感している。
- ・それぞれの団体から報告を聴き、熱心に活動されていることにより、今の落ち着いた状態につながっているのだと思う。
- ・SNS 等により、知らない間に手を染めてしまっている若者がいるというような提起もあったが、青少年を取り巻く環境は、分かりにくく年々困難になっていると感じる。こうした社会にどう関わっていくのかというのが、課題になる。
- ・子ども達は未熟であり色々な失敗をする。その小さな失敗のうちに、気づいたり踏みとどまったりできるようにしてあげることが大事である。日々の声かけや皆様の行っている地道な活動を繰り返していくしかないのではないかと感じるので、各々の活動を地道に進めてほしい。

6 その他
特になし

7 閉 会

以 上